



# スミダコーポレーション株式会社

2021年12月期第4四半期および通期決算説明資料

2022年2月4日





1. 2021年度第4四半期、通期業績概要
2. 2022年度業績予想

社長 堀 寛二  
CFO 本多 慶行



## 2021年度 第4四半期業績概要

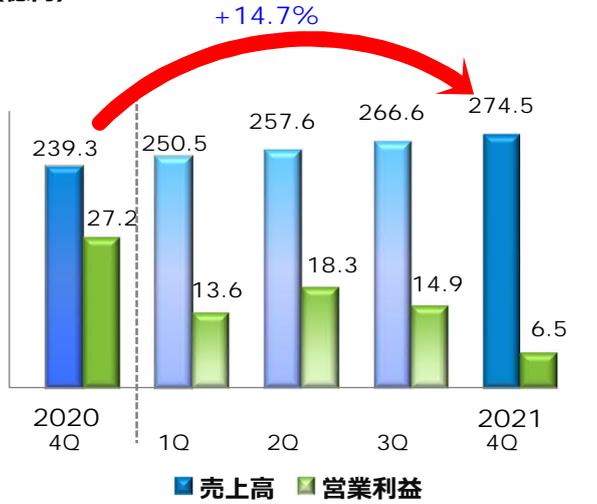
Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

3

## 売上高、営業利益の推移



(億円)



- 四半期で過去最高の売上高。
- 営業利益が前年同期比で減少している主な要因
  - ✓ 前年同期、海外子会社におけるリース債務の減少、および生産設備の減損損失の戻し入れとして、一過性の利益約10億円を計上。
  - ✓ 当四半期、海外子会社の清算に伴う一過性の損失として約4億円を計上。
  - ✓ 原材料価格の更なる高騰による、利益への影響が拡大。
  - ✓ 半導体供給不足、Covid-19感染による一部製造拠点の稼働制限、中国の電力供給制限等。

(円)

USD	104.75	104.42	109.24	110.25	113.02
Euro	123.53	127.14	131.37	130.58	130.24

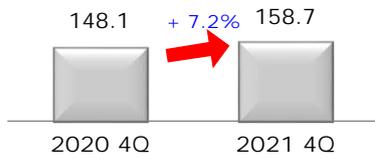
Copyright © 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

## 市場別、地域別売上高 前年同期比較

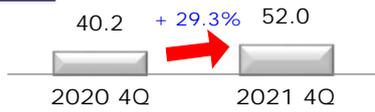


(億円)

### 車載



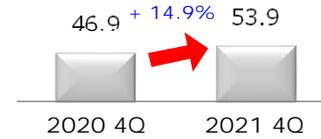
### インダストリー



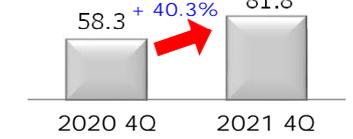
### 家電



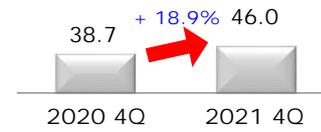
### アジア (中国/台湾除く)



### 中国/台湾



### 北米/その他



### 欧州



■ 全ての市場において、ビジネス全般が堅調に推移した。

■ 全ての地域で新規ビジネスの獲得、需要の拡大が継続したが、欧州地域では、半導体供給不足の影響が拡大し、マイナス成長となった。

## 前年同期、直前四半期比較



(単位：百万円)

	20.4Q (A)	21.3Q (B)	21.4Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
売上収益	23,930	26,663	27,451	14.7%	3.0%
売上総利益	4,396	3,944	3,610		
売上総利益率	18.4%	14.8%	13.2%		
営業利益	2,721	1,488	647	△76.2%	△56.5%
営業利益率	11.4%	5.6%	2.4%		
金融収益/費用 (Net)	△419	△319	△412		
税引前四半期利益	2,302	1,168	234	△89.8%	△79.9%
法人所得税費用	△617	△259	△269		
親会社所有者に 帰属する四半期利益	1,631	895	△45	-	-
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	60.05	33.24	△1.67		

Copyright © 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

6

売上収益は第4四半期は年末にかけて例年減少しますが、今期は引き続き順調に推移し直前四半期対比で3%の伸びとなりました。

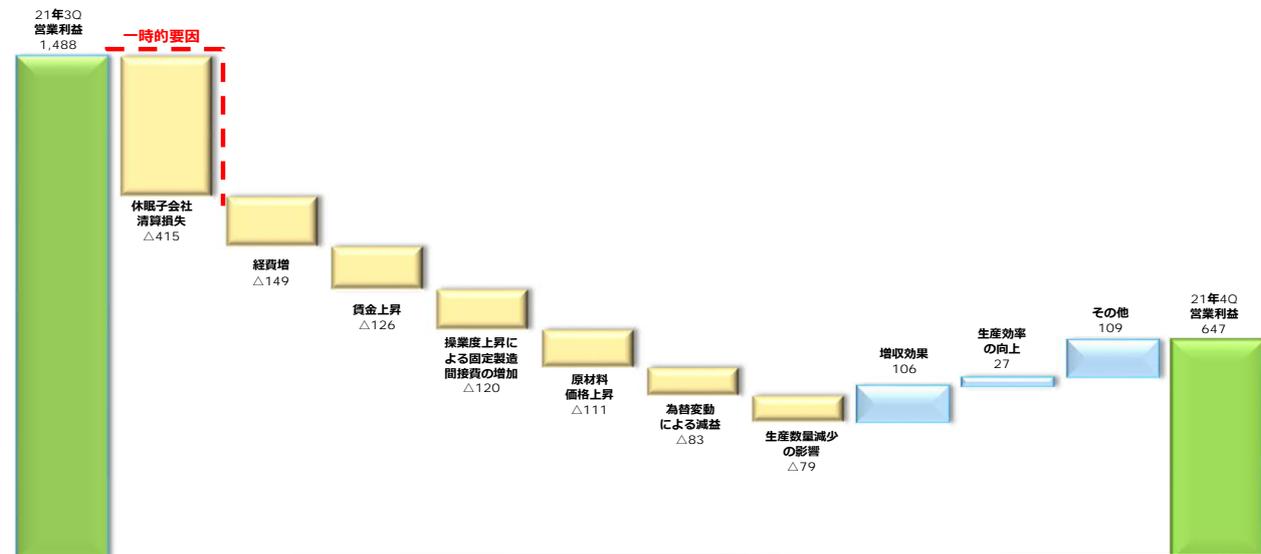
Covid-19の弊社工場での影響は限定的で順調に製品の生産ができた事、またEV/xEV向け、太陽光発電関連の売上が伸びた事で好調な売上を維持できました。そして全般的に半導体の供給逼迫と物流停滞により納品リードタイムが長くなる不安から先行発注が生じているように見えます。

同時に、半導体の供給逼迫により一部の顧客の生産にブレーキがかかり、それが弊社製品の納品の延期に繋がり製品在庫が増加しました。

## 営業利益増減要因分析 - 21年4Qと21年3Q -



(単位: 百万円)



Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

7

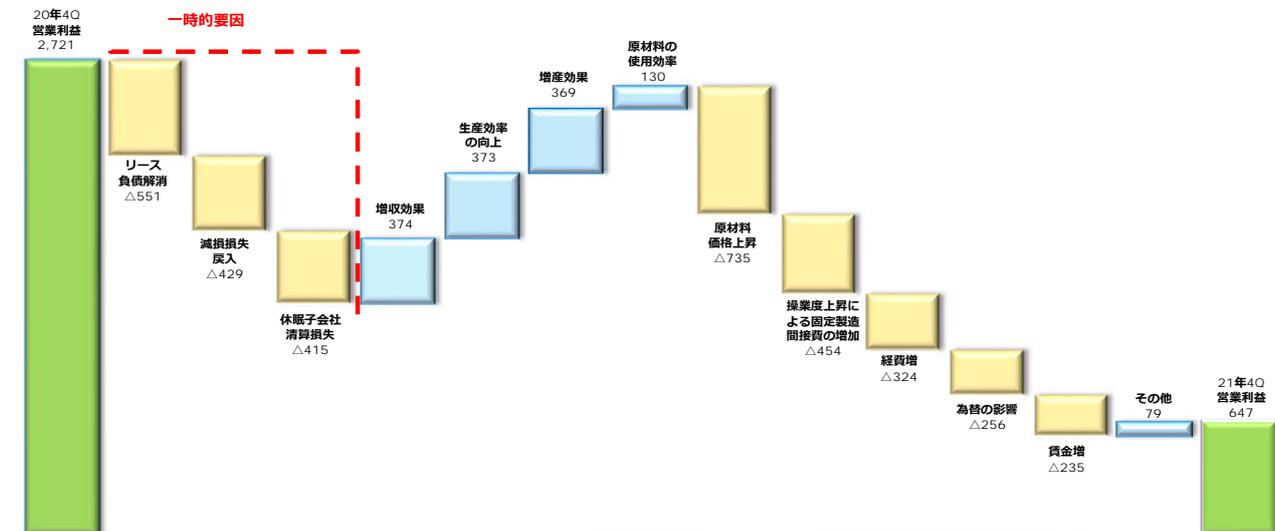
香港の休眠会社の清算により為替換算調整勘定から415百万円の損失が発生しました。この一時要因の影響を除くと第4四半期の営業利益は1,062百万円となり直前四半期比で426百万円の減益になりました。売上収益の伸びによる増益があったものの、部材価格の高騰、諸々の製造費用の上昇により収益性の圧迫がより深刻になりました。

引き続き販売価格への転嫁を最優先課題として取り組んでいますが、部材価格の高騰に対してタイムラグが見込まれます。

## 営業利益増減要因分析 - 21年4Qと20年4Q -



(単位: 百万円)



Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

8

一時要因の影響を除いた第4四半期の営業利益1,062百万円に対し、一時要因の影響を除いた前年第4四半期の営業利益は1,741百万円となり、679百万円の減益となりました。

増益要因として、

売上収益の伸びにより374百万円

生産性向上により373百万円

工場操業度の上昇により369百万円

原材料の効率的消費により130百万円

一方で以下の減益要因が増益要因を上回りました。

原材料価格の高騰により735百万円

製造間接費の上昇により454百万円

主に一時的な性格の経費の増加により324百万円

人民元高により256百万円

工場人件費の上昇により235百万円



## 2021年度 通期業績概要

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

9

## 売上高推移



(億円)



- 年間で過去最高の売上高。
- EV/xEV関連ビジネスは大幅に拡大。
- 脱炭素化を背景に、欧米の太陽光発電用ビジネスも好調。
- 家電市場では、ノートパソコン、スマートフォン関連等の売上が大幅に拡大。タブレット、データセンター用の分野でも売上は好調に推移。

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

10

## 2021年度 売上の内訳

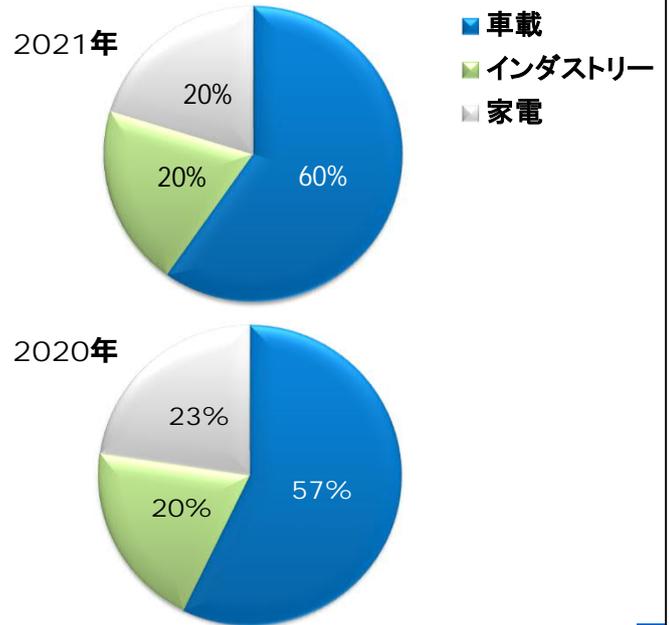


(億円)

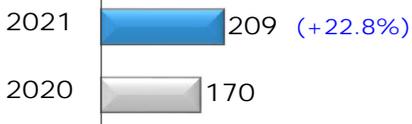
### 車載



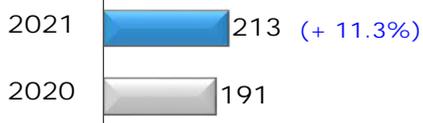
### 売上比率



### インダストリー



### 家電

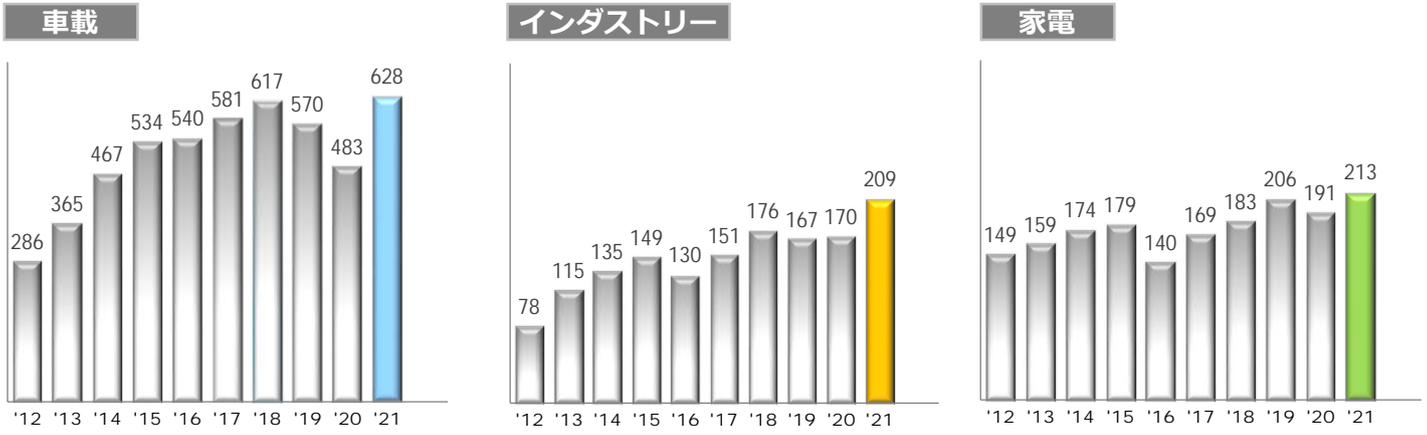


Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

## 市場別売上高推移



(億円)

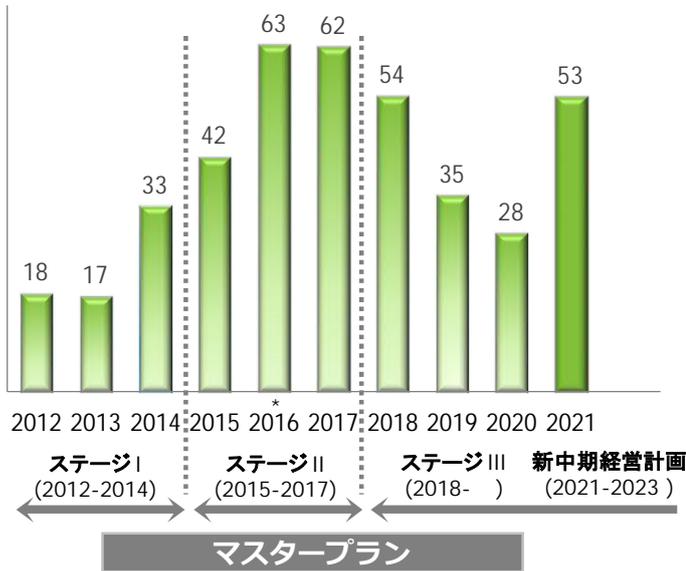


Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

## 営業利益の推移



(億円)



\* 2016 IFRSベース

### 主な増益要因

- 売上高の増加に伴い、工場は高操業度を維持。
- 生産性が大幅に向上。

### 減益要因

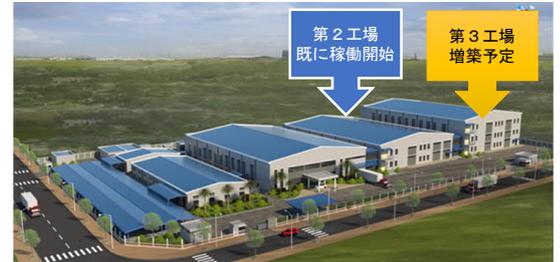
- 人民元高による製造原価の上昇。
- 下半期以降、原材料価格高騰、および物流コスト増の影響が拡大。

## 2021年度に実施した主な取組事項

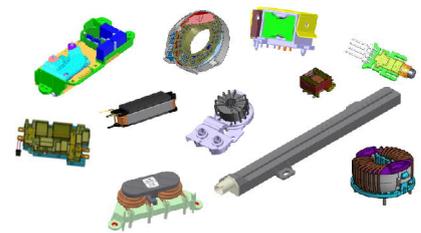


- 2021年12月31日付けで北米子会社2社の合併  
相乗効果を高め、NAFTA地域の顧客の更なる開拓を目指す。
- ベトナム生産能力の拡大  
クアンガイ工場に第二工場増築が完了し2022年2月稼働を開始。今後更に増築を計画（2022年11月稼働開始予定）。
- EV/xEV市場での成長  
2021年EV/xEV関連の当社売上高は、対前年比170%を達成。
- 2021年7月、科学的根拠に基づく目標（Science Based Targets Initiative)による温室効果ガス排出量の削減目標を設定することを約束

ベトナム・クアンガイ工場完成イメージ



EV/xEV関連当社製品採用例



## 前年比較



(単位:百万円)

	20年通期 (A)	21年通期 (B)	前年同期比 (B)/(A)
売上収益	84,417	104,920	24.3%
売上総利益	11,098	15,357	
売上総利益率	13.1%	14.6%	
営業利益	2,838	5,326	87.7%
営業利益率	3.4%	5.1%	
金融収益 / 費用 (Net)	△1,367	△1,427	
税引前利益	1,470	3,898	165.1%
法人所得税費用	△631	△1,202	
親会社所有者に 帰属する四半期利益	828	2,629	217.4%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	30.50	96.68	

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

15

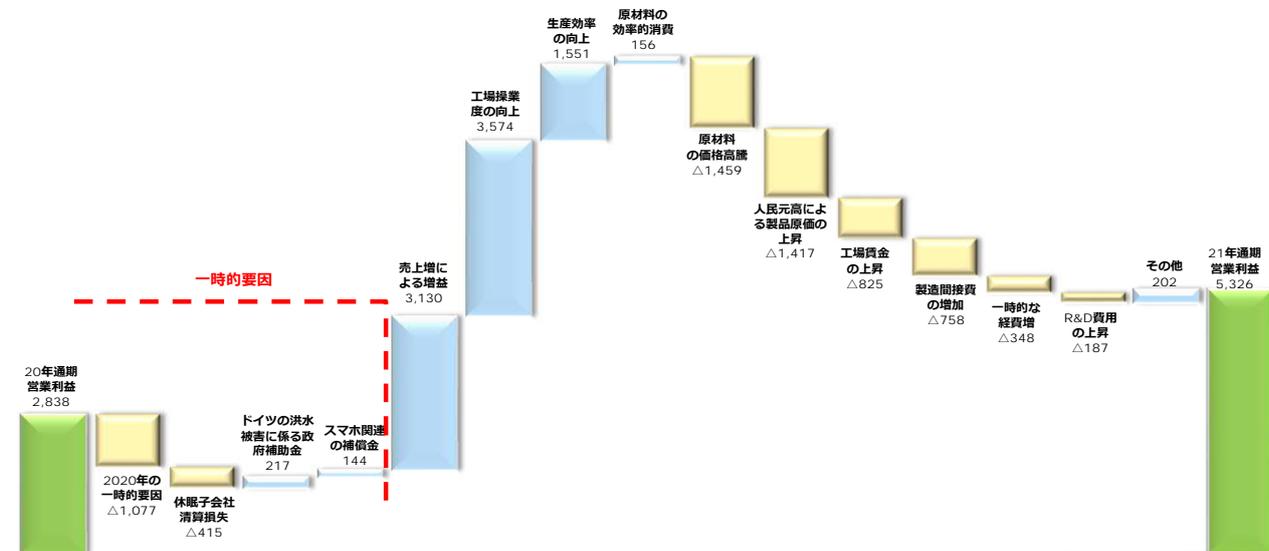
売上収益は、前年対比で為替レートの影響を除くと約20%の伸びとなりました。

年間を通した高い工場操業度が増益に貢献しましたが、下期に入ると、原材料価格、部材価格、その他製造費用の上昇が本格化して売上総利益率が徐々に低下しました。

## 営業利益増減要因分析 - 21年通期と20年通期



(単位：百万円)



Copyright © 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

16

今年度の一時的な要因として、香港の休眠会社の清算時に為替換算調整勘定から415百万円の損失、2013年のドイツ・ドナウ川の氾濫に係る政府補助金217百万円、スマホメーカーが昨年戦略変更したことで昨年度計上した固定資産減損損失に係る補償金144百万円の受領が発生しました。その他昨年度の一時的要因も取り除くと、営業利益の純増は3,619百万円となりました。

## 増益要因として、

- 売上増により3,130百万円
- 工場操業度の向上により3,574百万円
- 生産性の向上により1,551百万円
- 原材料の効率的消費により156百万円

## 減益要因として

- 原材料の価格高騰により1,459百万円
- 人民元高による製品原価の上昇により1,417百万円
- 工場賃金の上昇により825百万円
- 製造間接費の上昇により758百万円
- 主に一時的な性格を持つ経費増により348百万円
- R&D費用の上昇により187百万円

## 連結財政状態



	20年12月末	21年12月末	増 減		20年12月末	21年12月末	増 減
流動資産	43,474	57,590	14,116	流動負債	29,973	44,618	14,644
現金及び現金同等物	5,237	4,237	△999	営業債務及びその他の債務	10,149	12,757	2,608
営業債権及びその他の債権	17,832	22,557	4,725	短期有利子負債	9,286	19,067	9,780
棚卸資産	16,484	26,584	10,100	1年内返済予定又は償還予定の 長期有利子負債	5,538	6,516	977
その他の流動資産	3,920	4,210	290	1年内返済予定のリース債務	836	895	58
非流動資産	54,589	60,135	5,546	その他の流動負債	4,163	5,382	1,218
有形固定資産	36,936	41,452	4,515	非流動負債	33,532	33,006	△525
使用権資産	4,298	4,664	365	長期有利子負債	25,681	24,695	△986
のれん	4,122	4,425	302	リース債務	3,245	3,590	345
無形資産	6,016	6,379	363	その他の非流動負債	4,604	4,720	115
繰延税金資産	2,197	2,114	△83	負債合計	63,505	77,624	14,118
その他の非流動資産	1,017	1,099	81	資本合計	34,557	40,101	5,543
資産合計	98,063	117,725	19,662	親会社所有者に帰属する持分合計	32,990	38,338	5,348
	20年12月	21年12月		非支配持分	1,567	1,762	195
流動比率	1.45	1.29		負債資本合計	98,063	117,725	19,662
Net DEレシオ	1.1	1.2		為替 米ドル/円	103.12	115.13	
CCC (日)	73	118		ユーロ/円	126.82	130.23	
				人民元/円	15.80	17.73	

\*Net DEレシオ：（（短期銀行借入+1年内長期銀行借入+長期銀行借入）-現金及び現金同等物）/親会社所有者に帰属する持分合計

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

17

在庫日数が増加しCCCが118日になりました。半導体供給の逼迫で一部の顧客から納品の先延ばしの要請があった影響が出ました。今後の状況を注意深く見極め在庫水準の調整を徐々に進めていきます。

また、Net DEレシオは、正常値1.1から1.2に上昇しました。

## 連結キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

	20年通期	21年通期	差異
営業キャッシュ・フロー	9,107	600	△8,507
税引前当期利益	1,470	3,898	2,427
減価償却費及び償却費	5,947	6,668	721
減損損失	482	75	△406
運転資本の増減	1,724	△10,607	△12,332
その他	△517	565	1,082
投資キャッシュ・フロー	△6,669	△6,712	△42
設備投資	△5,989	△5,812	176
その他	△680	△899	△219
財務キャッシュ・フロー	△447	4,751	5,199
有利子負債の増減	1,018	6,601	5,583
配当金支払	△164	△708	△543
その他資本性金融商品の所有者に対する 分配の支払額	△353	△229	123
リース債務の返済による支出	△948	△911	36
その他	△0	△0	△0
現金及び現金同等物期末残高	5,237	4,237	△999

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

18

税引前当期利益は、2,427百万円増加しましたが、前のスライドで説明した事情もあり運転資本が12,332百万円増加し営業キャッシュフローを圧迫しました。

設備投資案件は順調に入ってきましたが、投資の実行が2022年度にずれ込み、設備投資額は昨年度の実績を僅かに下回りました。



## 2022年度 業績予想

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

19

## 2022年度の見通し

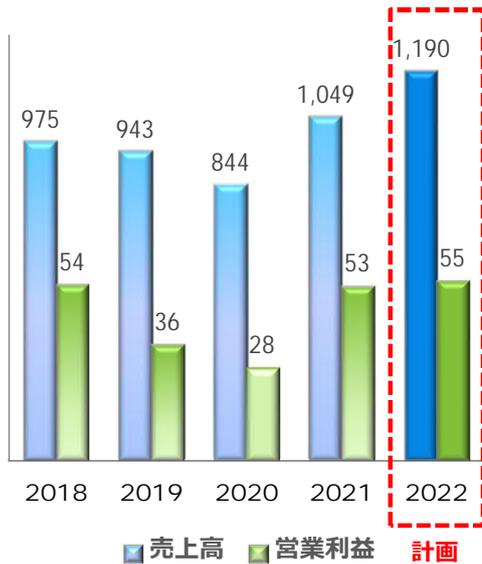


- 車載関連では、EV/xEV関連の需要拡大は継続する。
- 家電、インダストリー関連では、昨年同様デジタル化、5G、IoT関連が堅調に推移し、更に脱炭素化が一層進むことによりエネルギー関連の市場が拡大する。
- 半導体及びその他材料の供給不足、原材料高が継続する。
- 収益を左右する不確定要素として、新型コロナウイルスの変異型の感染拡大によるサプライチェーン、当社顧客の生産活動への影響、中国政府による電力供給制限、人民元高等があげられる。
- ESG活動を確実に進める。

## 2022年度 売上高、営業利益計画



(億円)

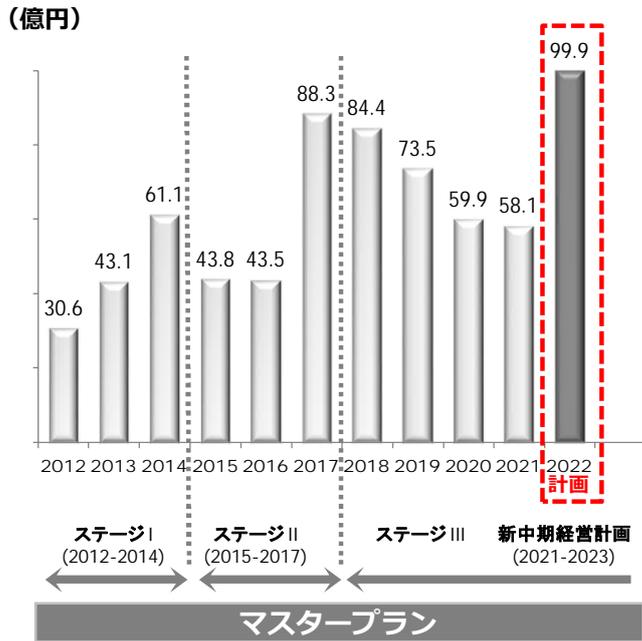


- 売上高、営業利益ともに前年対比でプラス成長を計画。
- EV/xEV市場向けの車載関連売上高に加えて、脱炭素化、5G、デジタル化推進によるインダストリー、家電関連の売上高が更に拡大する見込み。
- 原材料価格の高騰、半導体供給問題の正常化の遅れ等営業利益を減少させる要因が残ることが見込まれるが、原材料価格の高騰による影響は、価格改定により第2四半期以降徐々に減少すると想定。

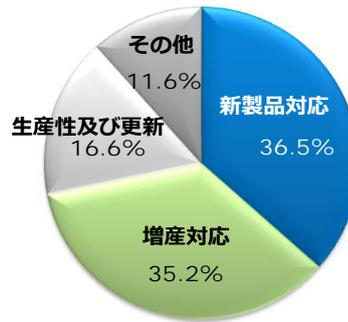
Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

21

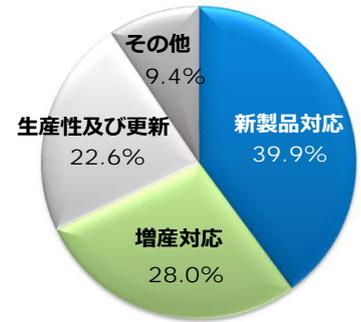
## 2022年度 設備投資計画



2021年実績



2022年計画



2021年の設備投資実績は、顧客都合による新製品開発スケジュール、増産対応の延期により低水準となった。

2020年、2021年と顧客より多くの新規案件の受注を獲得したことから、2022年の設備投資計画は総額で99.9億円。

## 2022年12月期連結業績予想



(単位：百万円、円)

	21年12月期実績	22年12月期予想	比較 (%)
売上収益	104,920	119,000	13.4%
営業利益	5,326	5,500	3.3%
営業利益率	5.1%	4.6%	
税引前利益	3,898	4,400	12.9%
親会社所有者に 帰属する当期利益	2,629	3,100	17.1%
基本的1株当たり当期利益	96.68	114.00	

## 為替レート

(実績および業績予想の前提)

米ドル/円	109.23	114.00
ユーロ/円	129.83	129.90
人民元/円	16.89	17.90

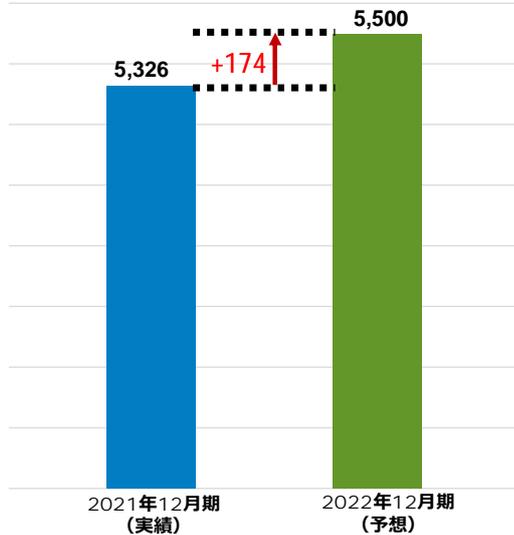
Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

23

売上収益は前年比で13.4%の成長を見込んでいますが、為替レートの影響を除くと約10%の成長になります。

営業利益は前年から微増を見込んでいますが、増減要因分析については次のスライドをご覧ください。

## 営業利益予想増減要因分析



2021年12月期営業利益		5,326
増収要因	製品価格の値上げ	3,138
	増収効果	1,435
	生産性向上	1,086
	2021年の一時的減益要因	415
増収要因合計		6,074
減収要因	原材料価格の上昇	△1,607
	製品ミックスと値下げ	△1,496
	賃金の上昇	△997
	人民元高による製造原価の上昇	△676
	研究開発費の増加	△384
	製造間接費の増加	△194
	2021年の一時的増益要因	△506
	その他	△40
減収要因合計		△5,900
合計		5,500

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

24

毎年、販売価格の値下げの交渉を受けるのが常ですが、今年度は値下げを極力抑え、製品販売価格の値上げを実現すべく交渉中です。これは近年にない最大のチャレンジになります。

背景には、原材料価格、部材価格、人件費、エネルギー価格、物流費、価格上昇は枚挙にいとまがない状況があります。

EV/xEVを中心に売上収益が大きく伸び増益に大きく貢献する見込みです。また例年通り、賃金上昇は生産性向上でカバーする計画になっています。

## 減価償却費、設備投資額、研究開発費



(単位：百万円)

		2020年通期実績	2021年期初予想	2021年通期実績	2022年通期計画
減価償却費		5,947	6,000	6,668	7,300
設備投資額		5,989	8,100	5,812	9,990
研究開発費		3,545	4,000	3,895	4,300
期中平均 為替レート	米ドル/円	107.02	104.90	109.23	114.00
	ユーロ/円	121.44	123.80	129.83	129.90
	人民元/円	15.40	16.00	16.89	17.90

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

25

2022年度の設備投資額には2021年度からのずれ込みが入っています。

## 2022年12月期配当予想



(単位：円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2020年	0.00	0.00	0.00	9.00	9.00
2021年	3.00	3.00	11.00	*11.00	28.00
	6月末		12月末		年間
2022年(予)	14.00		15.00		29.00

- 2021年12月期第4四半期配当は予定であり、2月22日に開催する取締役会において確定します。
- なお、当社は、2022年2月22日開催の取締役会において、2022年3月開催予定の当社定時株主総会で必要な定款変更が承認可決されることを条件に配当政策の変更(配当の回数を中間配当と期末配当の年2回とすること)を決議する予定です。



## Financial Analysis

次ページ以降は、参考資料です。

## 四半期業績推移



(単位：百万円)

		20.4Q	21.1Q	21.2Q	21.3Q	21.4Q
売上収益		23,930	25,049	25,756	26,663	27,451
営業利益		2,721	1,361	1,828	1,488	647
為替	米ドル/円	104.75	104.42	109.24	110.25	113.02
	ユーロ/円	123.53	127.14	131.37	130.58	130.24
	人民元/円	15.61	16.08	16.85	17.01	17.60

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

28

## 報告セグメント四半期会計期間売上収益



(単位：百万円)

	20.4Q (A)	21年3Q (B)	21年4Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
アジア・パシフィック事業	15,253	17,523	18,681	22.5%	6.6%
EU事業	8,676	9,140	8,770	1.1%	△4.0%
合計	23,930	26,663	27,451	14.7%	3.0%

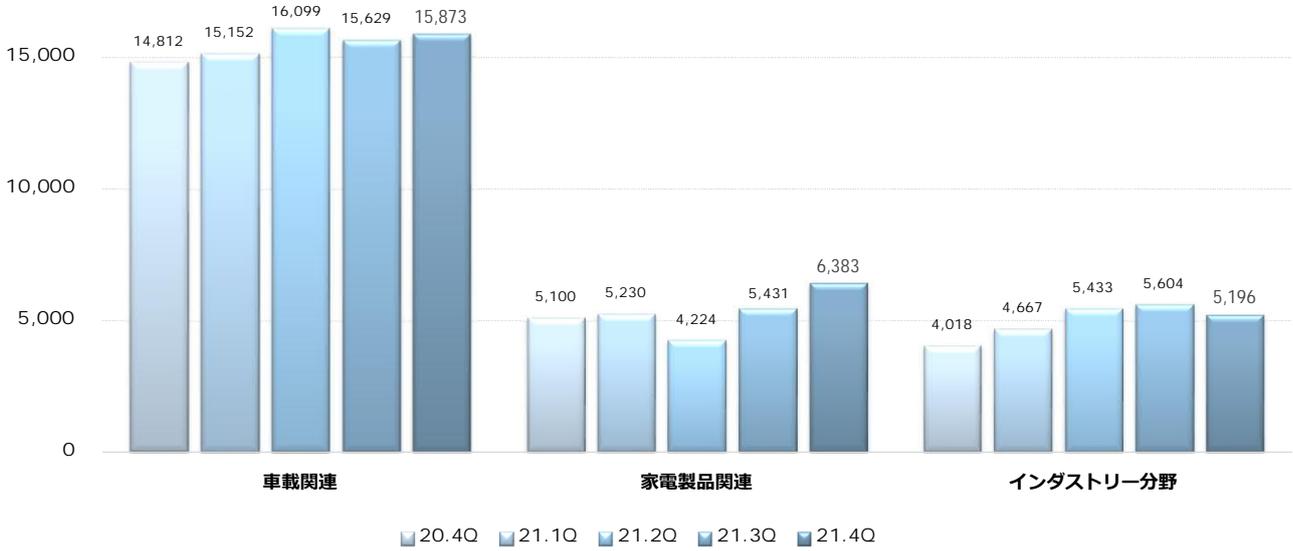
Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

29

# 市場セグメント別四半期売上収益



(単位：百万円)

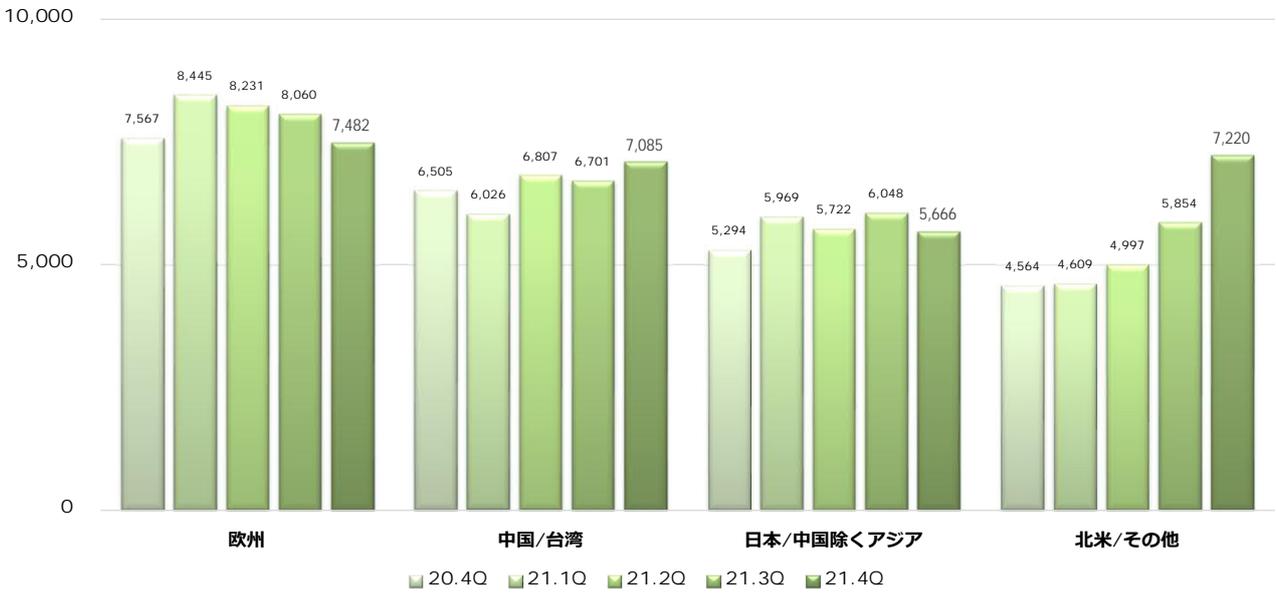


Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

# 仕向地別四半期売上収益



(単位：百万円)



Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

## 為替の影響度



(単位：百万円)

## 為替変動による影響

通貨	2022年 前提為替 レート	対円変動幅	売上収益 への影響	営業利益 への影響
USドル	114.00	1円円安	385	159
ユーロ	129.90	1円円安	280	37
人民元	17.90	1円円安	620	△834

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

32

## 四半期売上収益/営業利益推移



(単位: 百万円)

	12. Q1	12. Q2	12. Q3	12. Q4	13. Q1	13. Q2	13. Q3	13. Q4
売上収益	12,375	13,346	13,220	12,357	14,228	16,021	17,067	16,575
営業利益	197	552	582	366	240	449	670	338
	14. Q1	14. Q2	14. Q3	14. Q4	15. Q1	15. 2Q	15. 3Q	15. 4Q
売上収益	18,647	18,986	20,304	19,624	21,585	21,961	22,152	20,537
営業利益	524	808	1,436	576	1,003	1,224	1,484	524
	16. 1Q	16. 2Q	16. 3Q	16. 4Q	17. 1Q	17. 2Q	17. 3Q	17. 4Q
売上収益	20,603	20,921	19,876	19,651	21,599	21,769	23,164	23,621
営業利益	1,223	1,936	1,849	1,260	1,566	1,780	1,774	1,097
	18. 1Q	18. 2Q	18. 3Q	18. 4Q	19. 1Q	19. 2Q	19. 3Q	19. 4Q
売上収益	22,701	23,838	25,682	25,314	23,198	23,172	24,040	23,871
営業利益	456	1,281	2,085	1,559	600	524	1,163	1,254
	20. 1Q	20. 2Q	20. 3Q	20. 4Q	21. 1Q	21. 2Q	21. 3Q	21. 4Q
売上収益	20,573	17,588	22,325	23,930	25,049	25,756	26,663	27,451
営業利益	△260	△954	1,331	2,721	1,361	1,828	1,488	647

※2016年第1四半期からIFRS基準を任意適用した数字を記載しています。

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

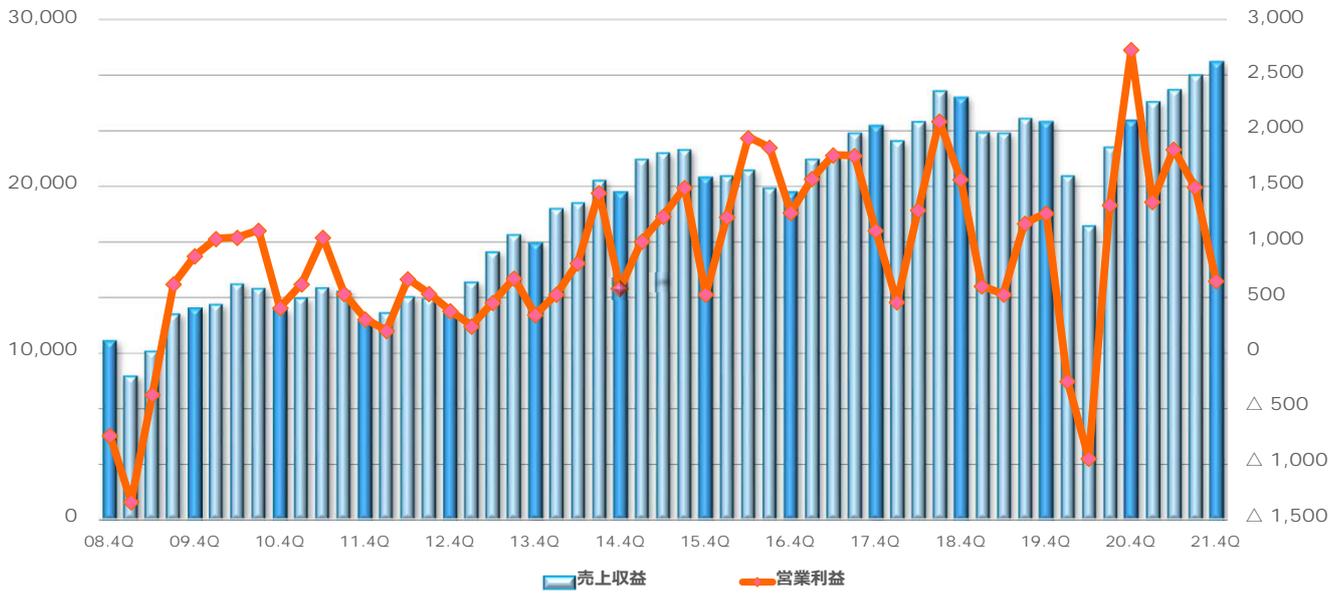
33

### 四半期売上収益/営業利益推移



売上収益 (百万円)

営業利益 (百万円)

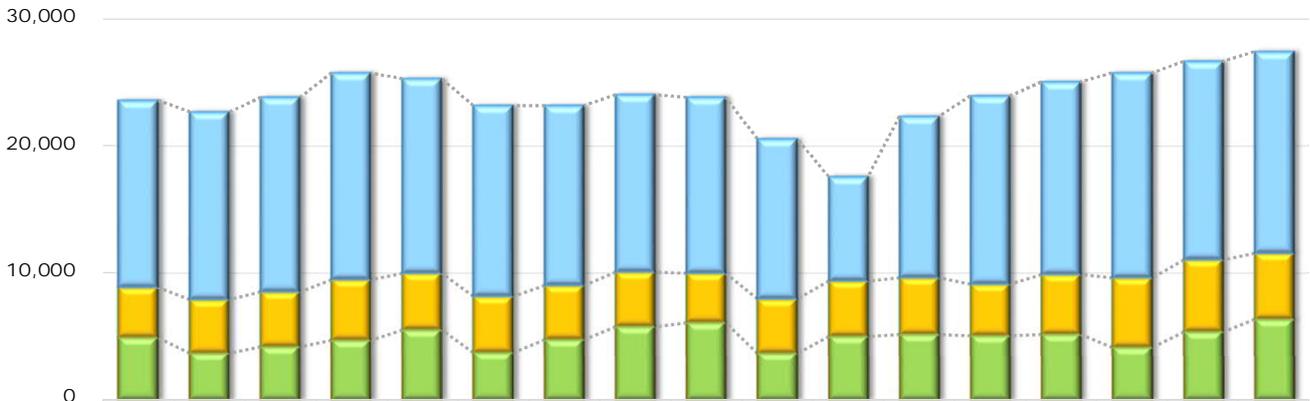


Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

# 市場セグメント別売上収益 四半期推移



(百万円)



	17.4Q	18.1Q	18.2Q	18.3Q	18.4Q	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q	21.1Q	21.2Q	21.3Q	21.4Q
車載関連	14,730	14,778	15,294	16,296	15,303	15,001	14,144	13,953	13,864	12,600	8,176	12,701	14,812	15,152	16,099	15,629	15,873
IT分野	3,935	4,171	4,275	4,713	4,442	4,378	4,245	4,250	3,872	4,238	4,342	4,419	4,018	4,667	5,433	5,604	5,196
家電製品関連	4,956	3,752	4,270	4,764	5,570	3,820	4,784	5,838	6,135	3,735	5,071	5,206	5,100	5,230	4,224	5,431	6,383

■ 家電製品関連 ■ IT分野 ■ 車載関連

(注) 市場セグメントの見直しにより、過去数値については変更される場合があります。

Copyright© 2022 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

## ご注意



### 将来予測に関する記述

当資料に掲載されている記述には、当社の将来予測に関する記述が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、当社が現時点で入手した情報に基づくものです。従って、予期せぬ事象の発生及び経営環境の変化（世界経済情勢、事業構造、競争状態、技術動向、公的規制、社会環境・労働環境等によるものを含みます。）等の要因によって、実際の結果がこれらの将来予測に関する記述と異なる結果となる可能性があります。ことをご了承ください。また、当社は、実際の結果が将来予測に関する記述と異なる結果となった場合でも、将来予測に関する記述を修正して公表する義務を負うものではありません。また、そのことに付随して発生したいかなる損失、損害にも責任を負いません。

本資料の著作権は、当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

なお、本資料では百万円単位で管理している原数値を億円単位で表示している場合があり、合計額、差額等が不正確な場合があります。詳細な数字が必要な場合は決算短信を参照していただきますようお願いいたします。

